

11月20日・21日は生活科学科が企画し、神戸新聞旅行社と加東市観光協会に支援していただき、実現した加東市ツアーが実施されました。今回は子どもがいるご家庭対象でしたので、大人用と子ども用のメニューが用意され、それぞれに生活科学科の生徒が課題研究班ごとに分かれてサポートしました。20日は、山芋掘りに始まり、昼食ではピザづくりからのピザを試食。私が見に行ったときには昼食は終了しており午後のメニューに入っていました。子どもたちは、木の実やフェルトを使って11月23日勤労感謝の日の保護者へのプレゼントを制作、大人の方々は、こいのぼり制作でした。生活科学科2年生がこの部署を担当(こ以外は3年生)。職人さんの手ほどきを受け、布地に色を付けていく段階をサポート。また色づけられた布地は学校に持ち帰ってミシンで縫い付ける作業をするのですが、棒にひもを



括り付ける作業の練習で苦戦。時間はかかりましたが理解に到りました(出来上がりは翌日手渡しました)。その後、播州清水寺で紅葉を楽しみ(この頃には疲れて寝てしまった子どももいました)、秋を満喫していただきました(今年は残念ながらライトアップなし)。その後、鴨川の郷でのライトアップに合わせた千燈会を参加者と一緒に完成させました。



とても幻想的な世界に引き込まれてとても癒された時間を過ごすことができたと思います。参加者にもとても好評でした。この後、宿泊のホテルに向かい、一日目を終了。慌ただしい日程でしたが、生



徒たちの元気な振る舞いとおもてなしに満足していただけたのではないかと思います。それぞれの部署で、手伝っていただいた(準備していただいた)関係者の皆様のおかげで、こういったイベントは成り立っています。生徒たちの活躍の場を作っていただいたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。翌日の神戸新聞北播版には、その様子を掲載していただきました。

神戸新聞北播版



11月21日は、播磨中央公園のサイクルランドからツアーが始まります。私自身、公園にはよく行っていたのですが、こちらは初めてでしたので、数多くの自転車があることに驚きました。参加の子どもたちは大喜び。天気も良く少し動く汗ばむ陽気に予定の1時間があっという間に過ぎていきました。ツアーの担当をしている生徒たちもよくぞこれだけ動けるなどというくらいに子どもたちと関わり、良い時間を過ごせたのではないのでしょうか。この後、昨年できた加東アート館を見学し、生涯教育センターに向かいました。私は、一足先に生涯教育センターに行き、準備状況を視察。ここでは、昼食のハンバーガーづくりとクッキーやケーキの販売が行われます。さらに子どもたちを楽しませるため、バルーンアートや紙芝居などを用意。



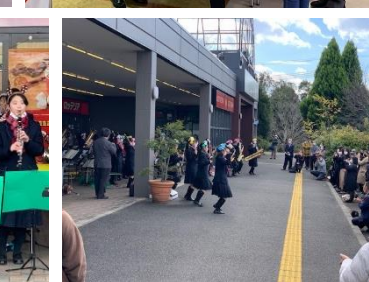
20日に制作したこいのぼりも無事完成し、参加者に配布できるようにしていました。残念ながらその後の活動を見ることはできなかったのですが、それぞれの持ち場をしっかりと考えた構成で、参加者をもてなしてくれたと思います。今回のツアーをすべて見ることはできませんでしたが、生活科学科3年生を中心とした「おもてなしの心」に触れ、とても感動しました。笑顔を絶やさず、参加者に接してくれたこと、自分たちで考えて盛り上げようとしてくれたことなど、本当に工夫して創り上げることがよくわかり、嬉しかったです。それぞれの場所でお世話になった関係者の皆様のご協力、本当にありがとうございました。また、指導にあられた先生方、2日間お疲れ様でした。



11月22日の東播地区校長会では、株式会社ブレイン(本社西脇市)の神戸壽代表取締役社長が「パンのAIが癌に挑戦」というテーマで講演をされました。レジ打ちの間違いをなくすためにパン屋さんからの要望でパンを写真で記憶させてその場で会計を済ませる機械で、パン自動認識「BakeryScan」というそうです。その機械の開発の過程から始まり、その機械がパンだけでなく食事メニュー識別技術や神社の授与品識別装置にも使われるようになり、現在は癌細胞の研究にあと一步のところまで来ているという素晴らしい話でした。兵庫県高校入試(2019年)英語問題にも取り上げられたこともあるそうですが、「ご縁」から仕事をいただき開発が進まない時は「ジタバタが足りない」というアドバイスで元気づけられ、開発に改良を加えていったという話を聞き、さらに経営とは「環境に適応して生き残ること」だと考えているという言葉で締めくくられ、私たち校長という立場で学校経営していく上で、必要な教示をいただきました。



11月23日には、やしろショッピングパークBioで生活科学科がseicaを開店。売上金を寄付するという事で1年生も初参加してパウンドケーキやクッキーを販売。校内の販売(30,000円)も含めて124,260円を寄付できたという報告を受けました。また、吹奏楽部は今年初めての発表の場をチャリティコンサートという形で設けていただきました。当日は風が強く肌寒い中ではありましたが、たくさんの方に見て聞いていただけました。生徒たちも久しぶりの外での発表に緊張していたようですが、観客の皆様は馴染みの音楽に手拍子を取ってリズムに乗っていただいていたので、良い時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。その後募金箱をもって吹奏楽部の部員たちはBioの4か所の入り口で募金活動を行いました。



11月24日は「和食の日」という事で市内の小中学校に生活科学科の2、3年生が食育に出かけました。毎月実施している福田小学校では、学年ごとに「和食」の理解と栄養について伝えるため、工夫を凝らして黒板に説明を張り付けたり、スクリーンに映し出したりと伝え方を考えていました。子どもたちの反応も良く、生徒たちの話を聞いてくれているように思います。生徒たちの伝え方の勉強にもなりますし、子供たちも栄養や給食、和食について考えるきっかけになってもらえれば幸いです。関係の皆様ありがとうございました。



いよいよ11月も下旬に入り2021年の終わりが近づいてきました。来週には期末考査も始まります。体調管理、感染防止対策にはくれぐれも注意を払い、年末年始を気持ちよく迎えられるよう頑張っていきましょう。